

救急災害医学・救急部

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
助教（うち病院籍）	3 人	(2 人)
診療助教	3 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	9 人	

2 教員の異動状況

吉野篤人(病院教授) (平成 17 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日准教授、平成 24 年 6 月 1 日～現職)
 望月利明 (講師) (平成 21 年 4 月 1 日～現職)
 大場健司 (助教) (平成 23 年 4 月 1 日～現職)
 栗山 茂 (助教) (平成 24 年 4 月 1 日～現職)
 齊藤岳兎 (助教) (平成 24 年 4 月 1 日～現職)
 渡邊貴洋 (診療助教) (平成 24 年 4 月 1 日～現職)
 高橋善明 (診療助教) (平成 24 年 4 月 1 日～現職)
 松下友樹 (診療助教) (平成 24 年 10 月 1 日～現職)

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数 (うち邦文のもの)	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	4.79	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数 (うち邦文のもの)	3 編	(3 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	2 編	(2 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	1.98	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Ohba K, Takayama T, Matsunaga H, Matsushita A, Sasaki S, Oki Y, Ozono S, Nakamura H : Inappropriate Elevation of Serum Thyrotropin Levels in Patients with Axitinib. *Thyroid* 23:443-448, 2013. [4.792]

インパクトファクターの小計 [4.792]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 青木克憲、吉野篤人、SAPS II、救急医学、36 巻 : 1374-1376、2013 年
2. 吉野篤人、望月利昭、青木克憲、わが国のショック治療の現状、侵襲と免疫、21 巻 : 93-99、2013 年
3. 望月利昭 周術期の危険な不整脈診断のポイントと抗不整脈薬の上手な使い方(第2回) 臨床編 周術期によく遭遇する不整脈と抗不整脈薬の使い方 頻脈 wideQRSの頻脈 日本臨床麻酔学会誌 32:597-600, 2012、[0]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 望月利昭 麻酔科学レビュー2012 (分担執筆) S39 心肺蘇生と脳保護 2012 年 5 月 総合医学社
2. 大場健司, 中村浩淑(分担執筆) : 血中サイログロブリン(Tg). *Medical Practice*編集委員会(編) 臨床検査ガイド 2013~2014, 文光堂, 東京, pp.379-382, 2013.

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Mochizuki T, Kamio Y, Hosokawa S, Kimura T, Yoshino A

Brain Infarction following dissection of the intrathoracic arteries secondary to acute epiglottitis.
American Journal of Emergency Medicine 31:463.e3-e5,2013, [1.98]

インパクトファクターの小計 [1.98]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 黒岩香里, 望月利昭, 佐藤重仁, 舌扁桃肥大のために予期せぬ経鼻挿管困難を来した1症例. 麻酔 62:172-174,2013 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 山口裕充, 小林充, 望月利昭, 白石義人, 佐藤重仁 心肺蘇生法に反応しなかった大動脈弁置換後患者の一例. 蘇生 31:52-56, 2012

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(221 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 望月利昭 基盤C、血管内軽度低体温法による虚血再灌流後の心筋保護効果:ラット孤立心筋モデルでの研究、平成23年～平成25年、91万円（平成24年度）
2. 栗山茂 平成23年度若手研究B、研究課題名：大腸がんにおける糞便と血清マイクロRNAの変化の検討とその診断への応用、研究機関:平成23年度～平成24年度、研究費額:403万円（うち平成24年度130万円）

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	3 件
(3) 学会座長回数	0 件	3 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	5 件
(6) 一般演題発表数	5 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. Takeji Saito, Kenichiro Suwa, Makoto Sano, Mamoru Nobuhara, Masao Saotome, Tsuyoshi, Urushida, Hideki Katoh, Hiroshi Satoh, Yasuo Takehara, Marcus Alley, Harumi Sakahara, Hideharu Hayashi. Visualzfation of Flow Dynamics From Pulmonary Veins to Left Atrinm and Left Ventricle Using Phase-resolved 3D Cine Phase Contrast MRI (4D-Flow). ACC2013. SanFrancisco, CA, USA, March 12.
2. Shigeru Kuriyama, Yasushi Hamaya, Takanori Yamada, Mitsushige Sugimoto, Satoshi Osawa, Ken Sugimoto, Hiroaki Miyajima, Shigeru Kanaoka (2012 DDW in San Diego)

ポスター発表

1. Toshiaki Mochizuki, Qiliang Jiang, Takasumi Katoh, Shigehito Sato Quality of cardiopulmonary resuscitation affects extracellular signal-regulated kinase-mediated cardioprotection by therapeutic hypothermia at 34°C during simulated cardiopulmonary resuscitation perfusion in a rat isolated heart model. API84, Resuscitation 2012, Oct、2012 Vienna(Austria)
2. Ohba K, Iwahara K, Unno T, Satoh T, Nakamura H : A Patient with Macrothyrotropin with Delayed Thyrotropin and Blunted Free-triiodothyronine Response After Thyrotropin-releasing Hormone Administration : A Case Report. Annual Meeting of the American Thyroid Assoeiation. 2012. 9. (Quebec, Canada)
3. Ohba K, Uchida H, Morioka T, Watanabe K, Takahashi G. Morita H, Matsushita A, Sasaki S, Oki Y, Mochizuki T, Yoshino A, Aoki K : Thyroid Carcinoma Associated with Non islet Cell Tumor Hypoglycemia and Pulmonary Metastases : A Case Report. Annual Meeting of the American Thyroid Association. 2012. 9 (Quebec, Canada)

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

招待講演

吉野篤人「福島での緊急被ばく医療」、第20回原子力エネルギーシステムシンポジウム、原子力学会中部支部、2012年11月7日、名古屋市

3) シンポジウム発表

1. 吉野篤人「私たちは災害拠点病院の役割の一つとして、市民や地元医師会の救護訓練の援助を積極的に行っている」、日本救命医療研究会、2012年9月
2. 望月利昭 脳低温療法と心筋保護・シンポジウム脳低温療法とその周辺 第31回日本蘇生学会 2012年11月、大津市 (滋賀県)
3. 栗山茂、金岡繁、演屋寧、山田貴教、杉本光繁、大澤恵、杉本健：糞便中のCOX-2 mRNAとmicroRNAの発現を組み合わせたFecal RNAs testの大腸がんスクリーニングの現状と展開に向けて 第54回消化器病学会大会 (JDDW 2012) 2012年10月 神戸

4) 座長をした学会名

吉野篤人 日本臨床救急医学会総会

吉野篤人 日本救急医学会総会

吉野篤人 日本救命医療学会総会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

吉野篤人 日本救急医学会：評議員、診療の質評価委員会委員

吉野篤人 日本集団災害医学会：評議員

吉野篤人 日本臨床救急医学会：評議員

望月利昭 日本蘇生学会評議員

大場健司 日本甲状腺学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

9 共同研究の実施状況

	平成24年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

(1) 国際共同研究

- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

1. 吉野篤人：地震ひとことボイス、NHK 静岡、2013 年 3 月